

学年	中学2年	教科	技術	科目	技術・家庭	単位数	2
教科書名	技術・家庭 技術分野（開隆堂）			副教材名	なし		
クラス・コース	中高一貫						

## I. 目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換に関する基礎的・基本的な知識および技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

## II. 授業のねらい

科学技術の進展等を考慮し、加工等にかかわる知識および技術を習得させるとともに、技術と社会や環境とのかかわりについての理解を踏まえ、技術を適切に評価し、工夫・創造して活用する能力と態度を育成する。

## III. 授業の進め方

1. 教科書の内容を中心に授業を展開する。
2. 作成課題を行うことにより、実践的な授業を展開し、知識・技術の定着を図る。

## IV. 学習上の留意点

1. 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割を考える。
2. 技術の進展と環境との関係について考える。
3. 材料、道具の使用目的や使用条件に即した機能と構造について考える。

## V. 定期試験

- 1 学期 期末試験 : 生活や社会における技術の役割、材料と加工に関する技術（木材加工）  
2 学期 期末試験 : 材料と加工に関する技術（木材加工）、エネルギー変換に関する技術  
3 学期 学年末 : 材料と加工に関する技術（金属加工）、1年間のまとめ

## VI. 評価の方法

定期試験、提出物（レポート・作品）の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	生活や社会における技術の役割  『材料加工に関する技術』 ものづくりの工夫と進め方 材料（木材） 設計（製図） 制作（木材加工） 加工 組立 仕上げ	意欲・態度 提出物 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考える。</li> <li>・材料の特徴と利用方法を知る。</li> <li>・材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる。</li> </ul>
	5	制作		
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペンたて</li> <li>・木工工作（設計～加工）</li> </ul>		
	7			
一学期	9	制作	意欲・態度 提出物 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知る。</li> <li>・製作品に必要な機能と構造を選択し、設計ができる。</li> <li>・製作品の組立て・調整や電気回路の配線ができる。</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木工工作（組立～仕上げ）</li> </ul> 『エネルギー変換に関する技術』 1 わたしたちの生活とエネルギー変換 2 エネルギー変換と利用 3 動力伝達システムの機構とその利用 機器の分解・作成 電機エネルギーの利用 加工 組立 仕上げ		
	11	制作 <ul style="list-style-type: none"> <li>・はんだ付け練習</li> </ul>		
	12			
三学期	1	制作 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイナモ式ライト</li> </ul>	意欲・態度 提出物 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の特徴と利用方法また、加工による強度の変化を知る。</li> <li>・金属の加工方法を知る。鋳造加工を具体的に体験する。</li> </ul>
	2	『材料加工に関する技術』 ものづくりの工夫 金属の種類と特徴 材料の強さを高める工夫 鋳造と鍛造 金属加工（鋳造） 金属の熱処理（焼き入れ・焼き戻し） 加工 仕上げ  制作 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鋳造キーホルダー</li> </ul>		
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。